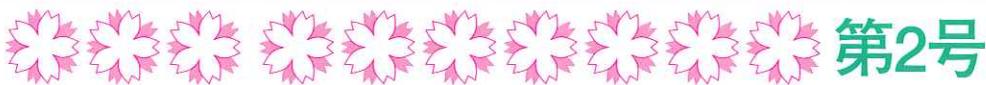




全国



第2号

# 母親クラブだより



- 厚生大臣表彰
- 新会員紹介
- 活動報告
- 伝承遊び
- 行政だより
- 関係団体の紹介
- 全国大会・総会
- 年中行事
- 事務局だより



発行  
全国母親クラブ連絡協議会  
〒156 東京都世田谷区松原2-42-7 (財)東邦生命社会福祉事業団内  
TEL. 03-5376-6900 FAX.03-5376-8385



## 厚生大臣表彰受賞

**厚生大臣より全国母親クラブ連絡協議会が感謝状並びに「県母連」会長四名に表彰状**

去る十一月十四日、全国社会福祉大会(開催場所 東京日比谷公会堂)の席上において、「全母協」が永年の児童福祉に貢献してきた功労に対し、児童福祉功労団体として唯一、厚生大臣より感謝状が贈られました。

併せて、個人として青森県母連の平野京会長、福井県母連の細川豊子会長、山口県母連の重田強子会長・香川県母連の名越美佐子会長の四名に対しても児童福祉功労者として表彰状が贈呈されました。



「全母協」を代表し、重田会長が受理しました。



重田 強子会長



平野京会長



名越美佐子会長



細川豊子会長

## 分かち合う喜び

会長 重田 強子

確実な足あとを残して一九九七年は幕を閉じ新しい年のとびらを開く時、全母協発足以來の存在意識を覚えた厚生大臣表彰の余韻を一度みなさまと共に呼び戻し、積み重ねられた諸先輩の功績を後世に継承していただきたいと思います。平成九年十一月十四日、

千代田区日比谷公開堂において全国社会福祉大会が開催され、その席上全国母親クラブ連絡協議会が、今大会団体として唯一、厚生大臣から感謝状授与の栄に浴しました。

準備万端整った大会会場のメインステージに、厚生省、全国社会福祉協議会、中央共同募金会が主催者席、相対する被表彰代表の席に当協議会を含むあらゆるセクションの受賞代表が着席し、厳粛にセレモニーがすすめられました。

続いて表彰に移り、第一番目に名前をよばれるといよいよ熱い気持ちで高まり、これまで築いてこられた多くの役員さんの姿を体中にいただき進み出ました。

政務次官から直接手渡しされた感謝状には、歴代会長のご苦労や、会員四十万人の活動歴、そして全母協結成以来苦楽を共にして下さった東邦生命社会福祉事業団の事務局の実績など多くの思いがあふれ、ずつしり重い感触でした。

また、併せて個人の立場として全母協から青森県の平野京さん、福井県の細川豊子さん、香川県の名越美佐子さんと私の四名も厚生大臣の表彰状をいただくことができました。

団体、個人共にこの受賞という幸運が児童福祉法制定五十周年の記念すべき年であったということも、喜びが倍増したような気がしました。

これも偏に常に適確な指導をいただいた厚生省をはじめとする関係地方行政、事務局の東邦生命社会福祉事業団、その他多くの関係各位のご支援の賜と、紙上をかりまして深く

感謝申し上げます。

これを契機に「まちの子はみんな我が子」の合言葉のもとに地域に根ざした活動を深め、さらなる躍進に努力を重ねて参りたいと思ひ

州北部に位置し、北に脊振山系を眺め、南には有明海から一面に佐賀平野が広がる、豊かな自然に囲まれた、人口約八十八万人の県です。

## お祝いの言葉

東邦生命社会福祉事業団



理事長 高木 恵一

今般、誠に嬉しいことに厚生大臣より「全母協」の活動に対し、感謝状が贈呈されました。併せて、県母連会長四名の方々にもその功績に対し、表彰が行われました。心よりお喜び申し上げます。

私共事業団にとりましても、設立当時より母親クラブと共に児童の健全育成の為、活動し歩み続けて参りました者として、慶びに堪えません。

現在、家庭や地域がかかるさまざまな問題のなかで、これから母親クラブの活動はとても重要なものになるはずです。その役割を果たすためにも、私たちが地域の子供たちのために心から信頼と愛情をもつて支援し、ともに力

を合わせて「子どもの心を育てる母親クラブの活動」を目指して行きたいものです。

わたくしたちは、皆様に見守られて新しい歩を踏み出したばかりでございます。これまで数々の活動をしてこられた全母協の一員になれましたことを喜びとして、各クラブと地域との連携を図りながら、地域に根差した活動を続けていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨今の少子・高齢化社会の進行に伴い、私どもの役割はますます重要なものとなりつつあります。今後とも未来を担う子供達の為に、更なる各位のご発展をお祈り申し上げる次第であります。

新会員「佐賀県母連」紹介  
子どもたちの心を育てる  
母親クラブ活動をめざして  
一地域と母親クラブの連携  
佐賀県母親クラブ連絡協議会



「県母連」結成を祝して  
事業団高木理事長が佐賀県庁を表敬。

# 全国母親クラブ

## 活動報告

北海道・東北  
関東ブロック

### ブロック研修会

秋田県開催

平成九年北海道・東北・関東ブロック母親クラブ指導者研修会が、九月十一日・十二日の二日間にわたり、秋田県大潟村「サンルーラル大潟」において開催されました。一日目、開会のあいさつに始まり、祝辞・行政説明・フォーラム・講演・意見交換会の順に行われました。フォーラムでは、「みんなで育てる地域の子ー母親クラブでネットワークを！」をテーマに主任児童委員、児童厚生員として活躍されている方をゲストパネラーに、フロアーからの意見も多く出され、トーケinandトーケですすめられました。子どもたちを優しく見守っている個人や団体が地域にはたくさんあるので、その人たちとネットワークを結び広い視野で子どもたちの幸せを考えましょとまとめられました。統一教育委員の市川早苗先生による「こども・本・おはなしの出会い」の講演。人間がどうやってこの世に誕生したか人間の原点のお話しに始まり、子供の心を育むのに、お父さん、お母さんの昔話、思い出話を語ることが大切で、本に親しむことは想像力を養い自立を促し、子供自信幸せを感じるなど興味深い内容でした。意見交換会では、地元の子供たちのアトラクションを楽しみながら情報交換がお

こなされました。

二日目は、ビデオを見ながら、岩谷すこやか母親クラブの活発な活動状況報告に始まりました。

パズ・セッションでは、八名ずつ七組により行われ、一、母親クラブに四つの柱があるが、一つ一つの柱の活動をスムーズにすすめる為にどのようなネットワークが必要か二、子供のネットワークづくりに母親クラブがいかに手助け出来るか。の二つのテーマが提示され、他団体との連携・楽しい活動・あそびの中に生きる力を等、活発な意見が出され閉会のあいさつで幕を閉じました。

秋の風にすすきの穂がゆれコスモスの群生するすばらしい自然に囲まれた会場で、研修させていただきありがとうございました。  
なお、秋田県におかれましては、現在「県母連」の結成に向けて準備中とのことです。  
早期結成をお祈り申し上げます。



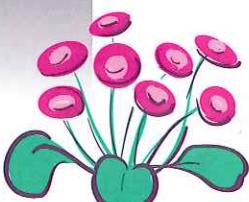
中部・近畿  
ブロック

### 児童養育に関する研究活動

愛知県母親クラブ連絡協議会

年二回開催される研修会の一つは子供の養育に関する講演会を開催しています。昨年は、ジョン・ギャスライツさんをお招きして、日本の子育て、外国の子育て、また、ジョンさん自身の子育てなど国際人として生きていく子供たちへのアドバイスなどについても、ユーモアをまじえて楽しく聞くことができました。参加者はとても好評で、第二談が聞きたいという希望もたくさんありました。

県母連としてできることはなかなか難しいですが、会員がお互いに刺激し合って、よい方向に向いていくようしたいと思っています。今年も活動発表会が今から楽しめます。



愛知県母連では平成七年度から「児童養育に関する研究活動」として、県下各地の母親クラブで活躍している事業の一端として、活動発表会を開催して秋の一日を過ごしています。普段は子供たちの前で発表しているものを会員の前で発表しようというものです。午前中は舞台での発表です。人形劇あり、大型紙芝居あり、影絵、ペーパーサート、エプロンシアター、寸劇など出し物はいろいろです。日頃、児童館、児童センターで子供たちに見せているものを会員の前で公演するため観客も童心に返つて楽しんでいます。

この機会にお互い、他の市町村の会員とも交流することができ、共に勉強し、刺激しあつて次回へのエネルギーとしています。

午後から開催される展示発表では、各クラブで活動している行事の紹介や、グループ活動でできあがった作品が、部屋一杯に展示され、まさに展覧会といったところです。ここでも、あちこちで交流会が持たれ、笑いがたえない一日となっています。

部屋の一角には手作りのコーナーを設けて、短時間でしかも安価でできるものを試作してもらい、参加した人のお土産としています。十分くらいで簡単に出来るもののため、きっと地域に持ち帰つて児童館で子供たちへと広まっていくだろうと思つています。



中国・四国・  
九州ブロック

### 児童の事故防止のための活動

呉市大坪谷母親クラブ

母親クラブの一つの柱である児童の事故防止のための活動として、私達のクラブでは、交通安全マスコット人形を、交通安全週間の時にテント村にてドライバーの方々に配っています。

交通事故の多い私達の地区では、警察の方と相談をし、手作りのフェルトマスコット人形を作ることにしました。昭和六十二年から春と秋二回実施しています。十年間続けており、その間、交通安全協力団体として、呉市と警察の方から二回表彰もしていただきました。

これは、会員の人達が、児童館に集まつて一針一針縫つて作ります。そのとき、手を動かしながら情報交換もでき会員の親睦も図れます。人形の下につけるたんざくも作り、近くの神社に安全祈願をしてもらっています。

テント村にて、ドライバーの方に配る時も皆の心と願いが伝わっているようです。消防車やバスにもつけていただき、作った会員はもちろん、子供達も見つけて喜んでくれています。

このことで、安全運転につながればと願つて続けていくつもりです。

作品の種類も、動物、車、魚、どちらもなんなど、いろいろ作つきました。好評なので、親子や世代間の交流活動の一環として、又、市で行つている今昔ふれあい創作

大会にも参加して、ここでも、子供達と楽しみながら、マスクコット作りをしています。最近、家庭では、針を持って手作りで、ものを作る光景はあまり見られなくなりました。皆で、おしゃべりをしながら手を動かすことでも、多くの人達とふれあいがもてるし、とても良い活動だと思いますので、これからも長く続けていきたいと願っています。



### 犬山市楽田児童センター 母親クラブ

岩橋 夫紀子

愛知県の犬山市楽田児童センターでは、けん玉遊びが盛んに行われています。

厚生省の先生が研修の際に習い、初めてできた時の感動を子供達にも伝えたいとのおもいが、きっかけで教えたことが始まりでした。

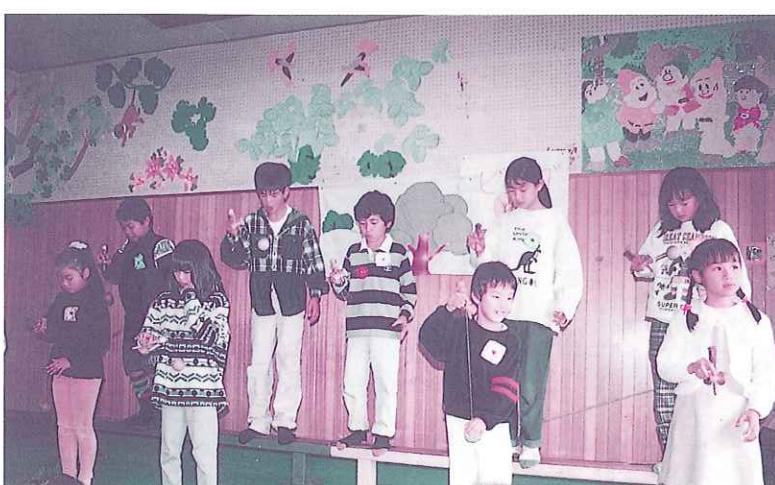
けん玉はたくさんの技があり、とても奥深い遊びだということがわかります。得意な子がなかなかできない子に少しアドバイスすることによって、新しいそしてむづかしい技に次々とチャレンジしていきます。この子供達の熱いおもいをなんとか発展させる方法はないものかと色々考えた結果、一人遊びのけん玉を団体プレイに広げたこ

### 伝承遊び



とでした。さらにけん玉を通じて交流活動ができたらと考え、老人ホーム・保育園・福祉センター等へ出向くことにしました。練習した技を披露するたびに、おどろきの声と大きな拍手に、益々技にみがきが加わり、やればやる程上手になり、そのうえ段々とむづかしい技ができるようになつてくるのが楽しみで、友達とのふれあい、親子のコミュニケーションになりました。

けん玉を通じて自分自身にも自信をつけたうえに、色々な人の出会いと体験の中から学ぶことも多く、これからも児童センターと母親クラブが協力しあい、新しい現代の遊びとともに、昔からの伝承遊びを伝えていきたいと思います。



## 行政だより



ご挨拶

厚生省児童家庭局育成環境課長

畠山 寛

「全国母親クラブだより」が六月に創刊され、この度第二刊が発行されるに当たりまして一言ご挨拶申し上げます。

全国各地において児童の健全育成の推進のためにご活躍いただいている各母親クラブの会員の皆様方、そして各県・市の連絡協議会及び全国母親クラブ連絡協議会において、指導的な立場からご尽力・ご協力賜わっております各会長をはじめとする役員の皆様方に心よりの御礼と謝辞を申し上げます。

ご承知のとおり、昨年には鹿児島県母親クラブ連絡協議会が、また本年七月には佐賀県母親クラブ連絡協議会が発足し、続いて秋田県、岐阜県でも年度内にそれぞれ県の連絡協議会が発足の運びとなつております。いよいよ、全国三十三都道県・指定都市において連絡協議会が組織化され、全国的な母親クラブ活動の一層の充実と地域の児童健全育成活動のますますの推進が期待されるところであります。

昨今の神戸などの幼い少年少女に関わる痛ましい事件を見るまでもなく、地域社会の希薄化や家庭の児童養育機能の著しい低下に伴い、母親クラブや児童館などの地域に密着した児童健全育成事業の重要性は、今後ますます高まっていくと考えております。

この様な中で、去る十一月十四日の全国社会保障大会において、「全国母親クラブ連絡協議会」に対して全国で唯一、厚生大臣からの感謝状が授与され、また永年母親クラブ活動にご尽力賜わり、児童健全育成事業に顕著な功績のあった方々に対しても併せて厚生大臣表彰が行われました。これも偏に団体としての永年の児童福祉事業に対する功労と個々の母親クラブの活動について、高い評価がなされたしめた賜であると思います。

一方、現在全国に約七千四百クラブに約三十七万人の会員がおられます。これから参加を得て、児童館はもちろん地域の各関係団体や関係機関との連携を一層緊密にした、地域全体の児童福祉の向上が求められており、母親クラブとしての充実・発展が強く望まれております。

近年、我が国においては、少子化の進行、夫婦共働きの一般化、家庭と地域の子育て機能の低下等児童及び家庭を取り巻く環境が大きく変化しております。近い将来予想される「人口減少社会」と世界に例を見ない「少子・高齢社会」が間近な中、将来の我が国の社会経済のあり方そのものに深刻な影響を与えることが懸念されております。

このような変化を踏まえ、子育てしやすい環境の整備を図るとともに、次代を担う児童の健全な育成と自立を支援するため、この度、児童福祉法の大きな改正を行い、二十一世紀を展望しつつ児童家庭福祉制度の再構築を図ることとしたところであります。

母子保健推進会議は、幸せな家庭づくり、社会の健全化、民族の繁栄をはかるため、関係諸団体が連携協力して母子保健の重要性を啓発し、必要な対策を促進して母性の健康を守り心身ともに健全な児童の出生と育成に寄与することを目的とし元厚生大臣古井喜実代義士を会長に昭和四十五年社団法人として厚生省の認可を得て設立されました。平成九年現在の団体会員は二十五団体、個人会員は四十四人で構成されております。

わが国の母子保健事業は昭和十二年に保健所法が制定され母子衛生は結核予防と共に保健所の重要な事業として発足しました。その後昭和二十二年母子衛生行政は公衆衛生の一環として大きく飛躍、厚生省に児童局が設置され母子衛生課(現在の母子保健所)が母子衛生事業を所管することになりました。昭和二十五年当時の乳児死亡率は出生一〇〇〇対六〇、

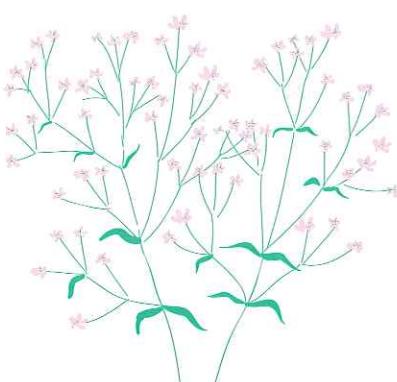
## 関係団体紹介



### 社団法人母子保健推進会議

常務理事 齋田 栄吉

四十数年間の間にすばらしい水準を示し世界のトップレベルをマークしております。近年、少産少死による人口の高齢化、核家族化、女性の社会進出等母子保健に直接、間接にかかわる変化のなかで更に母子保健の推進が期待され平成六年保健所法、母子保健法が改正され特定疾患を除いて対人保健サービスは市町村で一元的に実施されるようになり平成九年四月より母子保健事業は市町村実施となりました。しかしながら現在の市町村の保健行政の実態を見ますとわが国が未だ経験したことのない人口の高齢化に対する対策が大きな問題としてあり、母子保健事業が現在より停滞せずより以上に発展するためには行政と民間諸団体の協力が欠かせない問題であります。特に地域社会でボランティアとして母子保健事業に協力している母子保健推進員、母子愛育班、母親クラブの育成は、市町村母子保健事業を推進してゆくためには欠かすことのできないものであります。(社)母子保健推進会議は、関係諸団体並びに地域婦人組織の方々との協力を得ながら、わが国の母子保健事業の発展になお一層の努力をして参りたいと思います。



## 第二十四回 全国大会・総会

### 感謝と喜び 第二十四回全国大会を終えて

会長 重田 強子

盛りは過ぎたといわれた紅葉でしたが、見事な色彩のコントラストの山形県上山市で、第二十四回地域組織活動指導者全国大会が十一月六日・七日の両日開催されました。

会場となつた上山市体育文化センターとホテル「古窯」に、北は北海道から南は沖縄まで約六〇〇人が参集し、先ずは厚生省の畠山育成環境課長さまから、児童福祉法制定五十周年にあたり同法の改正が行われ、より安心して生み育てることのできる社会の構築に対する施策など行政説明をいただきました。

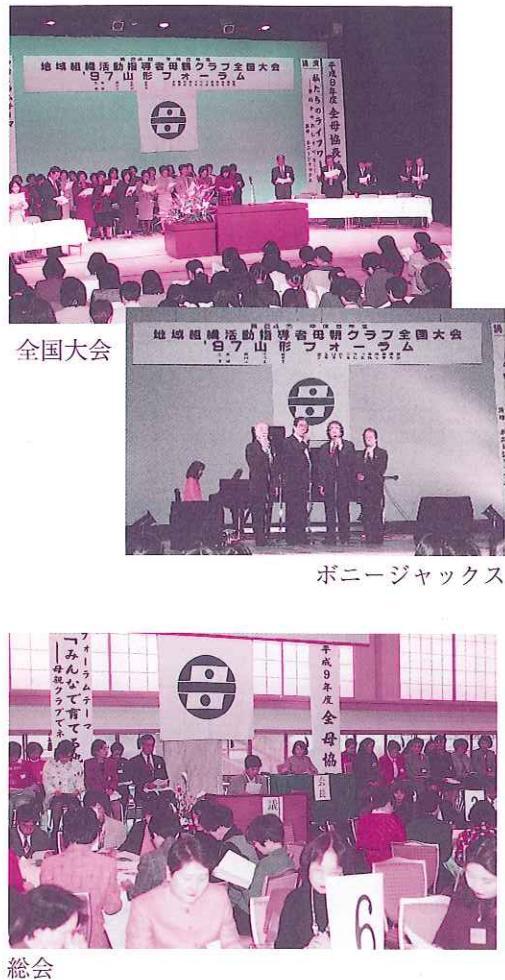
続くフォーラムは、コーディネーターに全国児童館連合会常務理事の鈴木一光さまゲストパネラーに山形県児童家庭課長補佐の植松さま、羽陽学園短期大学講師の村形さま、そして全母協から広島県の中岡幹事、山形県の竹内幹事という活気あふれるメンバーで、子供達に夢を持たせよう、地域文化の継承をと次々に意見が交えられました。

そのためには、地域団体のネットワークが必要である」とさすがにその道のベテランの方がだと会場のみなさんが感服していました。

また、今年は特別にボニージャックスのご講演をいただき、中でも障害児の作った詩の解説とそれにつけられた曲が聞こえ始めると、そのメロディーは会場を魅了しました。

第二日目の全母協総会は、宮城県母連菊地幹事・議長のもとに、上程された第一号議案から第五号議案まで全て可決、承認されました。

パズセッションも白熱した声が飛び交い、各組ごとにそれなりの示唆もあったようです。関係各位のおかげで盛会裡に終了できましたこと、ここに厚くお礼申し上げます。



## 主な年中行事

### ○ブロック別母親クラブ指導者研修会

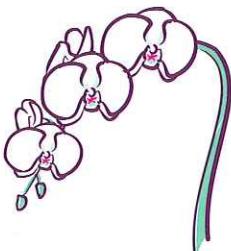
- ◆中国・四国・九州ブロック地区 平成10年6月11日(木)・12日(金)開催地 広島市
- ◆中部・近畿ブロック地区 平成10年7月 9日(木)・10日(金)開催地 福井県三国町
- ◆北海道・東北・関東ブロック地区 平成10年9月10日(木)・11日(金)開催地 青森県三沢市

### ○全母協役員会 平成10年7月30日(木)・31日(金) 開催地 東京／渋谷東邦生命本社ビル9F会議室

### ○第二十五回母親クラブ全国大会 平成10年11月19日(木)・20日(金)開催地 愛知県名古屋市

### ○母と子の楽しい音楽会

- ◆仙台開催 平成10年8月 3日 仙台市「宮城県民会館大ホール」
- ◆熊本開催 平成10年8月19日 熊本市「熊本市民会館大ホール」



各ブロック編集員、左より、中国・四国・九州ブロック中岡さん、北海道・東北・関東ブロック徳江さん、中部・近畿ブロック加藤さんです。

「全国母親クラブだより」の第二号をお届け致します。今回は写真の通り、各ブロックより選任の編集員三名のご協力により発行する事が出来ました。ありがとうございました。今後とも、各地域での活動および伝承遊び等、参考になることがありましたら編集員及び事務局まで寄稿くださいますようお願い致します。平成九年は「全母協」並びにクラブ役員四名に対する厚生大臣表彰があり大変慶ばしい年になりました。来るべき平成十年も母親クラブ会員の皆様にとって、健康でさらなる発展の年でありますよう、事務局一同お祈り申し上げます。

事務局だより